

令和4年度沖縄域外競争力強化促進事業費補助金の成果概要

事業実施主体	沖縄東京計装株式会社
プロジェクト名	先端技術搭載ロボットアームによる夜間無人自動生産ライン構築及び生産能力大幅拡張
事業内容	当社が長年かけて取り組んできたロボットアームを用いた24時間稼働を実現するための自動生産ラインの構築に取り組んだ。具体的には、社内の生産体制を整えるために、クリーンルームの拡張、クリーンルーム拡張に向けたインフラ整備、自動化ライン拡張のための自動化推進部の創設を実施。超純水装置の導入なども行い、新商品の生産ラインを構築し生産能力増強を行う。
今後の計画	2023年度：海外 アジア向け90,000kg（輸出販売のみ） 2024年度：海外 アジア向け99,000kg（輸出販売のみ） 2025年度：海外 アジア向け108,000kg（輸出販売のみ）
最終目標と現状	最終目標) 令和8年度までに、アジア諸国への流量コントローラー輸出量119 t (売上金額3,593,000,000円) 現状) 搬出状況等：新商品は生産ライン構築中でありテスト品の生産を行っている。その他主力品は、部材不足であるが、月当たり約3億円の売上である。
補助事業の効果	事業内容 以下2項目を重点的に実施した。 ①生産ラインの増強・労働生産性の向上 クリーンルームの拡張、ロボットアーム4台の導入（自主）、超純水装置の導入を実施。生産ライン増強のための施設整備・装置導入を行い、ロボットアームを使った自動生産を行うためのハード面の体制整備を完了した。 ②自動化推進部の創設 自動化を推進していくために専門部署として、自動化推進部の創設を実現した。生産ライン自動化によって生まれた余剰人員を自動化推進部に配置することで、さらなる自動化推進のための土台とした。

